下水道普及率五十二%に

横越上、下、川根谷内地区の一部及び二本木中、下地区の一部、約十七ヘクタールがみなさんのご協力により工事が完了し、三月三十一日（公示）から下水道が使用できるようになりました。

また、これまで区域外流入をしていた団地等の区域（三十九ヘクタール）及び新たに団地開発された区域（約十二ヘクタール）についても昨年十一月に県から認可を受け、正式に供用開始となりました。

今回の供用開始により、平成四年度末の下水道普及率は約五十二%となりました。

今後とも、より一層ご協力をお願いします。

〝三年以内に水洗トイレに改造を〟

供用開始の公示がされますと、各家庭内の台所や風呂場、水洗トイレなどの排水を流すため、公共汚水ますに接続するまでの排水設備（私設下水道）を、すみやかに造るよう法律で義務づけられています。

〝今回の供用開始区域の場合〟

平成五年三月三十一日から平成八年三月三十日までに水洗トイレに改造していただくことになります。

また、すでに水洗化されているご家庭も、すみやかに浄化槽を廃止し、直接公共下水道に接続していただくことになります。この方が将来を考えると経済的で有利です。

〝排水設備の工事費は〟

宅地内の排水設備工事は個人負担となります。工事費は家庭の状態などによって異なりますが、標準的には三十五万円から四十万円位かかります。（大工、左官などの費用は含まれません。）

〝工事の申し込みは指定工事業者へ〟

排水設備や水洗トイレに改造するときは村が指定する業者に依頼しなければなりません。指定業者以外では工事はできないことになっています。

指定工事業者と工事契約をしますと、工事の手続きなど皆さんに代って一切の手続きをしてくれます。

〝下水道使用料の汚水量はどう計る〟

下水道の使用を開始しますと処理場や管渠などの維持管理費として汚水量に応じて下水道使用料をいただくことになります。

使用料は汚水量十立方メートルまでが基本料金で月額千百三十三円（消費税含む）です。十一立方メートル以上については超過料金をいただきます。

汚水量は水道使用料を汚水量とみなします。

ご利用ください 排水設備の融資制度

村では、水洗トイレが早く行きわたるよう排水設備および水洗トイレ改造工事に必要な資金の融資（大工、左官などの費用は除く）のあっせんをします。また、その利子の全部又は一部を補給します。

▽融資あっせんの条件

①処理区域内の建築物の所有者および土地所有者の同意を得た方

②村税及び下水道受益者負担金を滞納してない方

③貸付けを受けた資金の返済能力を有する方

④連帯保証人一名を付すことができる方

▽融資額

工事一件について**五十万円**が限度です

▽融資の利率

金融機関と協定した利率となります

▽融資時期

工事が終わり検査合格後となります

▽融資の方法

最高**三十六回**の元金均等月賦償還です

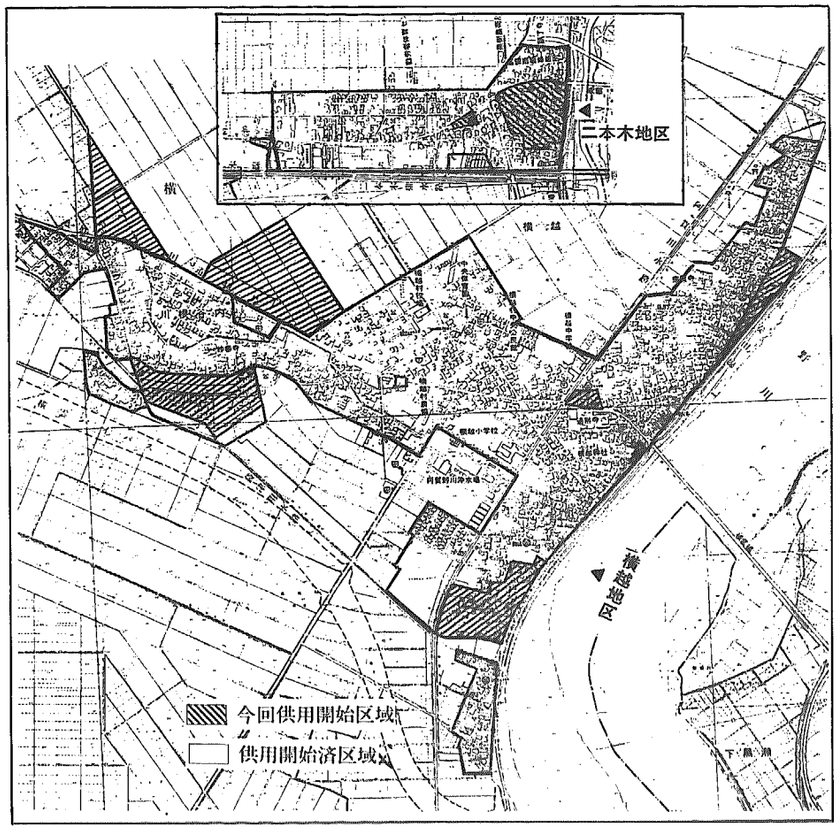
▽利子補給

○供用開始した日から**一年以内**に水洗化した方―**利子の全額を補給**

○供用開始した日から**二年以内**に水洗化した方―**利子の半額を補給**

※詳しいことは、役場企業課下水道係に問い合わせ下さい。

☎三八五―二一一一（内線一四二・一四三）



横越ライオンズクラブが誕生 新潟県で75番目

挨拶をする佐藤忠昭会長

三月七日(日)、沢海の農村環境改善センターで横越ライオンズクラブの結成式典が行われ、亀田ライオンズクラブを始め、十三のライオンズクラブから百八名の会員がその式典にかけつけてくれました。

このライオンズクラブは、〝我々は、奉仕する〟を基本理念に掲げ、世界的な社会奉仕団体で、世界では、約四万、日本では、約三千の団体が社会奉仕活動を続けています。

ところで、新潟県には、七十四のライオンズクラブがあり、横越ライオンズクラブは、七十五番目の誕生となりました。

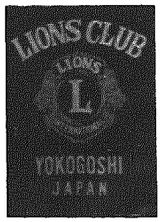
このライオンズクラブの結成にあたっては、亀田ライオンズクラブの全面的な支援のもとに、昨年から準備委員会を開催するなどしてようやく、結成の運びとなりました。

横越ライオンズクラブは、結成当初は、三十三名の会員で活動をし、会長には、㈲サトウエンジニアの社長、佐藤忠昭さんを選び、今後、様々な社会奉仕活動を事業計画に掲げてやっていくそうで、大いに期待が持たれます。

なお、結成当初の主な役員は、次のとおりです。

○横越ライオンズクラブ役員名簿

・会　長　佐藤　忠昭
・第一副会長　谷井　篤光
・第二副会長　田中　一幸
・第三副会長　村木　廣
・幹　事　石井久以知



ライオンズ旗

農事組合法人　みずほ生産組合
優良農業経営等知事賞受賞

このたび、長年にわたり、農業経営や生産活動に優秀な業績をあげ、地域農業に大きな貢献をしたことにより、集団の部でみずほ生産組合が優良農業経営等知事賞を受賞しました。

同組合は、昭和六十一年に設立し、昭和六十二年から本格的に事業を開始し、今年で六年目で、現在、全面受託三十二ヘクタール、作業受託二十ヘクタール、合計五十二ヘクタールを九名で受託しており、作業意欲に燃えていました。

代表の坪谷徳一さん

みんな おいでよ 「竹のこ」フェア フジコマ

準備委員会で説明する渡辺農政課長

藤山・駒込地域住民の生活に密着して育まれてきた竹林と、恵みである「竹のこ」を活用し、消費拡大や竹林の保護、また、観光園としての自然景観を保持するために「竹のこ」フェアを企画したもの。

三月五日㈮の準備委員会には、藤山・駒込地域の代表、村、JA横越村、新潟農業改良普及所、村農業委員会などの代表者が集まり、役場で準備委員会を開催し、具体的な内容について審議し、次のような内容を今後、更に検討して実施する予定にしています。

●期　日　五月九日㈰
●時　間　午前九時～午後三時まで

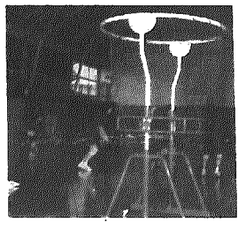
●内　容
・竹の子掘り親子体験
・竹のこ展示販売
・竹とんぼづくり
・竹細工・竹工芸展の開催

真鍋（旧姓金子）さんの油絵 中学校に伝達

小林豊雄校長が油絵を説明

このたび、真鍋（旧姓金子）木津出身、岐阜県各務原市在住）さんより寄贈を受けた油絵については、本人の希望により中学校に伝達しました。伝達に際して、全校生徒を前に小林豊雄校長より、この油絵は「N婦人」という題で、中学生のみなさんがあこがれるねえさんのような絵であるので大切にして下さい。と説明があり、全校生徒が感謝をしていました。

坂川（旧姓伊藤）さんの寄附金でバレーボール トス練習機購入


練習に励むバレーボール部

平成三年十月に横越中学校バレーボール部に十万円の寄附金を頂きました。

この寄附金は、中学校を昭和二十八年に卒業して新潟県立新津高等学校で青春時代を、バレーボールで国体や全国大会で活躍された坂川（旧姓伊藤）セツさんからの寄贈で、使途について、新しい体育館ができるまで検討してきましたが、この度、バレーボール用のトス練習機を購入しました。

この練習機をバレーボールの部活や授業にも使わせてもらうと先生も生徒も張切っていました。

また、坂川さんに大変感謝をしていました。